

「公共施設等の提供」 (会議室の貸出し、使用料減免制度等)

本調査は、協働の兆しを把握するために行うものです。

① 施設での活動者・活動団体等の状況について

貸室（会議室等）の提供を行う中で、新しい取組にチャレンジしている団体がありましたら、把握している範囲で結構ですので記載をお願いします。
 なお、所管の登録団体でなくても構いません。
 併せて、所管課の登録団体一覧表（活動内容が分かるもの）の送付をお願いします。
 ※該当がない場合、調査票2の提出は不要ですが、登録団体一覧表は送付願います。

No.	活動者名/活動団体名	R5年度活動内容 (活動者/活動団体が取り組んでいる内容)	施設名	課名
1	ととのうらボAshiya	産前産後の母親の支援として、親子ヨガや、健康のための手作りの食事を食しながら、親子の居場所づくりを実施している。	あしや市民活動センター リードあしや	市民参画・協働推進課
2	傾聴ナッジASHIYA	メンバーが傾聴を学び、傾聴を伝える講師としてスキル向上をめざしている。会員の学びと共に、市民に向けて傾聴講座を実施し、傾聴の必要性や手法などを広めている。	あしや市民活動センター リードあしや	市民参画・協働推進課
3	芦屋オーガニック生活推進委員会	市民の安心安全な暮らしを守るための取り組みをしている生産者を集め、マルシェを開催する。それとともに、市民が集い、地域の環境や健康、暮らしについて情報交換をし、学び合う場を提供している。	あしや市民活動センター リードあしや	市民参画・協働推進課
4	ももたろう	手話の習得を通じ、聴覚障がい者の文化を学ぶことを目的に、聴覚障がい者や手話ボランティアとの交流会を開催している。交流会を通して、聴覚障がい者の日常生活を知り、その知識や経験を活動に繋げている。昨年度は「UNIVERSALカワイイ」イベントに参加し、手話通訳で協働した。	あしや市民活動センター リードあしや	市民参画・協働推進課
5	芦屋市男女共同参画団体協議会	芦屋市男女共同参画センターの登録グループで組織する芦屋市男女共同参画団体協議会の活動として、月1回程度登録団体の代表者が集まり定例会を開催している。また、令和5年5月に「ウィザズあしやフェスタ2023」を開催し、DV被害者支援のためのチャリティーバザー及び所属団体によるグループワークショップ10企画を市と共催で実施した。なお、チャリティーバザーの収益はDV被害者支援団体へ全額寄附した。	芦屋市男女共同参画センター「ウィザズあしや」	人権・男女共生課

② 各施設で企画・実施されている取組 (活動者/活動団体の掘り起こし・支援・協働の取組につなげることを目的としたもの)

各施設において企画・実施された取組の中で、市民活動を行う人/団体の掘り起こし・支援・協働の取組につなげることを目的とした内容をご記入ください。
 ※該当がない場合、調査票2の提出は不要です。

No.	施設名	R5年度事業内容 (施設が実施した取組)	掘り起こし・支援 ・協働した相手方	課名
1	あしや市民活動センター リードあしや	「灯籠まつり」 左官業の提案による左官の技の継承をすること、中学生による実行委員会の「震災を忘れない」気持ちとを合わせたイベントを令和6年1月8日に実施した。令和5年5月から実行委員会を立ち上げ、実行委員会とボランティアメンバーで灯籠づくりアシスタント養成講座を開催後、市民（幼稚園児から大人まで）の方々に灯籠づくりを経験していただいた。日中は防災体験イベント、夜は制作した約60個の灯籠を公園にアレンジし、祈りの時とした。	実行委員会（中学生）、左官業、ボランティア（高校生）、117KOBÉ 防災委員会、エイサー、神防社、あしや映像倶楽部あしノウ	市民参画・協働推進課
2	あしや市民活動センター リードあしや	「日常を「ユニバーサルマナー」でつなぐ」 高齢者や障がいのある方、ベビーカー利用者、外国人など、多様な方々に向き合うためのマインドとアクションを学び、「相手の視点に立ち、行動する」ことを地域で共有することを目的に、当事者や支援者の話を聞く時間を持ち、何をすべきかを話し合った。最終的には、サポート意思表示マーク「あしやおたすけ部」の名称を決定し、缶バッジを作成した。市役所をはじめ施設に設置し、趣旨を広めた。	芦屋市身体障害者福祉協会、芦屋市障がい福祉課、(特活)芦屋市手をつなぐ育成会(おむすび隊) コープこころへ、一般社団法人カワイイ介護	市民参画・協働推進課
3	あしや市民活動センター リードあしや	「芦屋発 君も今日から新聞記者」 子どもたちが芦屋市内で活動する方々取材し、市民活動を広報するとともに、子どもたちにも市民活動を知っていただくことを目的とする。神戸新聞社による記事の書き方、取材のマナー、写真の撮り方講座を終了後、取材者を決めた。そして、取材者にアポイントをとり、取材をし、記事を書き、編集会議を経て1冊の冊子にまとめ上げた。また、芦屋市の広報あしや8月号を担当した。	神戸新聞社、県立芦屋高等学校ボランティア部、クラーク記念国際高等学校、芦屋学園高校、取材を受けてくださった団体及び市職員のみなさま	市民参画・協働推進課
4	あしや市民活動センター リードあしや	「CYCLE COMPOST」 生ゴミをコンポストによって分解することで、たい肥を作り、できたい肥を緑豊かな街づくりに活用するという循環型の仕組みを市民参加型でつくることを目的とした。たい肥を作る過程では、障がい者作業所と連携し、不要になった古着などをサイクルしてコンポスト袋としてリユースした。また発酵用には、放置竹林削減の伐採で作った竹パウダーを使った。余ったたい肥はあしや市民活動センターで引き取り、庭づくりボランティアに利用していただき、持ってきていただいた市民の方には、コーヒー券をお渡しし、センター内での交流に使っていただき、多様な方々の居場所づくりとしても広がりをもつことを第2の目的とする。	社会福祉法人メンタルサポートセンター、ヤドリ千商店、一般社団法人モノコミュ研究所、人・社・暮らしあまがえる、芦屋環境施設課(広報)	市民参画・協働推進課
5	あしや市民活動センター リードあしや	「夏休み！わくわくスペシャル」 小中学生を対象にした学びの場と、どなたでも参加できる遊びやワークショップの場を市内で活躍している団体と協働して設けた。高校生大学生の運営するワークショップや、熟練の市民活動団体の読み聞かせ、人形劇は親子でも楽しむことができた。スタンプラリー後のお菓子の提供を小中学生のスマイルボランティアが担い、小さな子どもたちとのふれあいの場ともなった。	Living with JOY、ボイエシス、こころのアトリエ・アーティスト、Chie&Yoshi、オーロラサイエンス、フルーレット芦屋、スタジオバローン、こしやる、遊遊、工藤さん、芦屋大学ボランティア部Aqua、あしやエコクラブ、芦屋Tioクラブ、NPO法人「絵本で子育て」センター、コケッコ、人形劇「夢」、灘高校、スマイルボランティア	市民参画・協働推進課
6	福祉センター	エントランス・コンサート Part 1 2 5を開催。 主催：福祉センターエントランス事業実行委員会・芦屋市福祉センター 運営企画：I LOVE ASHIYA 協力：ほっと・ポット 手話歌グループあしや あしや宙の会	I LOVE ASHIYA ほっと・ポット 手話歌グループあしや あしや宙の会	地域福祉課(福祉センター係)